

かべ新聞

第 87 号

2015年
3月23日

JR東海労働組合
新幹線地方本部
東京車両所分会

ダイ改以降、構内操縦「昼入6と夜入6」の 入換本数が少ない！ 意図的に少なくしている！ 要員削減を目論んでいるのであれば反対です！

ダイ改以降、構内操縦『入6』（昼出、夜出共）担当者の入換本数が、他の入1～入5担当者と比べて毎日少なく設定されています。私たちはこれまで「入換本数を均一にするように！」と要求してきました。多少のアンバランスは仕方ないにしても、毎日入6だけが他の担当者よりも少なく2/3以下、ひどい日は1/2という日もあります。

会社は、何を狙ってこの様な入換指定をするのでしょうか？ その狙いが、入6の廃止＝要員削減を目論んでいるのであれば、労働強化となることは明らかです！ 労働強化には反対です！

構内操縦者の休憩時間を分割せずに 60 分連続で！

さらに、構内操縦者は、昼出も夜出も休憩時間 60 分が『40分・20分』と分割されています。安全面からも、ゆっくり休憩するためには連続で 60 分の休憩とすべきです！

昨年 12 月に提示された「車両データの活用等による 検修体制の見直し」による要員削減反対！

また、昨年 12 月 24 日会社より『車両データの活用等による検修体制の見直しについて』も提示されています。具体的内容は明らかにされていませんが『ARISの改良』『SS無線の増設』『屋根上点検扉等の改良等』を27年度内に実施し「要員増減は別途提示する」となっています。

私たちは、構内操縦の削減、さらに『検修体制の見直し』等による仕業・交検の要員削減にも反対です！